

台湾の生活・文化

今回はシリーズ2回目として、台湾の生活・文化面について紹介します。

1 民族・言語

漢民族が圧倒的多数（人口の95%以上）であり、日本統治時（1895年～1945年）から住んでいる本省人と、1949年前後に移住してきた外省人に分類され、本省人も言語や習俗の違いにより閩南人、客家人などに分かれる。また、近年では中国大陸部や東南アジアから婚姻などによる移住者として「新住民」が増加傾向にある（図表1）。

北京語に近い「台湾華語」が公用語であり、方言として台湾語・閩南語を話す人も多い。多世代で暮らす家庭では日常的に複数の言語を使うこともあり、日本統治時の教育を受けた本省人の高齢者とその家族などは日本語を話せる人も珍しくない。また、漢字は、中国大陸で使用される「簡体字」と異なり、「繁体字」が使用されている（図表2）。

このような民族の多様性があるものの、民族間の婚姻や台湾華語の普及などで差異は曖昧になりつつある。

2 食・文化・流行

「台湾料理」は、福建料理由来の「台菜」が基本となり、日本や西洋からの食と融合している。食文化としては、夜になると多数の屋台・露店が営業するのが特徴で、「士林夜市」

以降は会員専用ページにて公開しております。
 ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページより
 アクセスをお願いします。

多様な民族文化が融合する台湾では柔軟な感性が土壌にある。道教や儒教、生活に根ざり
[ご入会はこちらから](#)
 （入力は数分で終わります）

[会員の方はこちらから](#)

図表1 エスニシティ（族群）構成

台湾人 共通語: 台湾華語 (台湾国語)	先住民(マレー・ポリネシア系等の16部族)	アミ族、アタール族等 先住民語(アミ語、アタール語等)	2.5%	
	漢民族	本省人	閩南人(河洛人):福建地域経由で移住 台湾語、閩南語(河洛語、福佬語) 客家人:広東地域経由で移住 客家語	72%
		外省人	中国大陸各地からの移住 標準中国語(普通話)、各地の方言	12%
		新住民	出身地の言語	2.5%

資料：中華民国（台湾）外交部「台湾のしおり2022-023」、松尾 慎（東京女子大学教授）「台湾における言語選択と言語意識に関する予備考察」より当研究所で作成

図表2 繁体字と簡体字

日本の漢字	台	湾	華	語
繁体字	臺	灣	華	語
簡体字	台	湾	华	语

資料：当研究所で作成

図表3 士林夜市



画像提供：台湾観光局

図表4 タピオカミルクティー



図表5 鯤鯓 龍山寺

